

C50PT255

## ポンドUVC55

この度はポンドUVC55をご購入頂きありがとうございます。  
 ご使用前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。  
 また、本書は大切に保管しておいて下さい。  
 万一不具合、不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。

## —— 目次 ——



1:ご使用前に

2:各部の名称

3:取り付け

4:メンテナンス

5:補足資料

## 日常ご使用して頂くお客様へ

機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。  
 万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、  
 設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いか、  
 散水箇所の植栽等に大きな変化は無いか必ず日常点検を実施して下さい。

## 取付工事担当者様へ

- 本製品の設置の際には別途ご用意頂く物がございます、事前にご確認下さい。
- 説明書と巻末の製品保証書は、必要事項を記入の上、工事完了後は必ず管理者様、施主様(日常操作可能な方)にお渡し下さい。

お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

# 1:ご使用の前に

## 取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。  
表示と意味は以下のようになっております。



### 警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を  
起こすおそれがあります。

- 本製品は小規模観賞池用の[ろ過]機です。違う目的に使用したり、改造しないで下さい。
- 取り付けの際には、取扱説明書の手順、方法を守って下さい。
- ろ過した水は飲料用には使用しないで下さい。
- 冠水の恐れがある所、水の溜まる所、振動、衝撃の多い所では使用しないで下さい。  
このような場所で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
- 皮膚や目に害を及ぼす事があるのでUV光線を直接浴びたり、見ないようにして下さい。
- 機器に異常が生じた時、機器の点検や清掃の際には電源を切って行って下さい。
- 濡れた手でコンセントプラグや電気接続部分を触らないで下さい。
- 機器内に永久磁石を使用しています。心臓のペースメーカーが誤作動、停止する恐れがあります。ペースメーカーをお使いの方が1 m以内に近寄らない様にして下さい。



### 注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

- 本体を設置する周囲に火気や高温になる要因が無い場所に設置して下さい。  
本体が変形したり火災の原因となる恐れがあります。
- 感電事故防止のため、安全アース線は必ず接地してご使用下さい。
- 凍結時、または凍結が予想される場合には使用を中止して下さい。
- 破損などの際に本体やホースの交換をできる様に、周囲の装飾、造形をして下さい。
- 本製品の使用は1台で使用した場合、貯水量が60 t（鯉を飼う場合は15 t）までの規模の池に限ります。大規模施設などの高度な浄化効果が必要な場合は別途ご相談下さい。
- 常温の水以外の液体に使用しないで下さい。
- 本体は水が入ると重量が増して、重くなりますので、設置箇所は地固めを充分に行い、平坦になるようにして下さい。
- 本体の上に物を乗せたり、腰掛けたりしないで下さい。
- 本製品はろ過によって水をきれいにする製品です。設置後すぐろ過機能が発揮をされるものではなく、効果が表れるのに日数が必要です、ご理解下さい。
- コンクリートモルタルを使用した新設の池に使用する場合は、モルタルの成分が水中に浮遊している場合がありますので、アク抜きなどをして水質が安定してからご使用下さい。ろ過機能が低下したり、破損の恐れがあります。

## 製品保証について

本製品の製品保証については、巻末の保証規定をご参照下さい。



## 施工の際に注意して頂きたいこと

本製品はフィルター内に、有機物を無機物へ分解する有益なバクテリア（細菌）を繁殖させて水をろ過する生物ろ過と、フィルターで水中の不純物を取り除く物理ろ過と、UV(紫外線)照射による殺菌を同時に行います。  
 タンク内が密閉されているので、水圧をほぼ維持しながら池に戻せます。  
 水中ポンプ（別売）で水を本体へ圧送し、内部で段階を経て、ろ過されます。  
 1:物理ろ過：水がフィルターを通過、ゴミは底に沈殿します。  
 2:生物ろ過：フィルタに定着したバクテリアは水温が+10℃以上で機能します。  
 3:UVC照射：UV-Cランプで紫外線照射。緑藻類、病原体が死滅します。

### 別途で用意して 頂く必要のある物

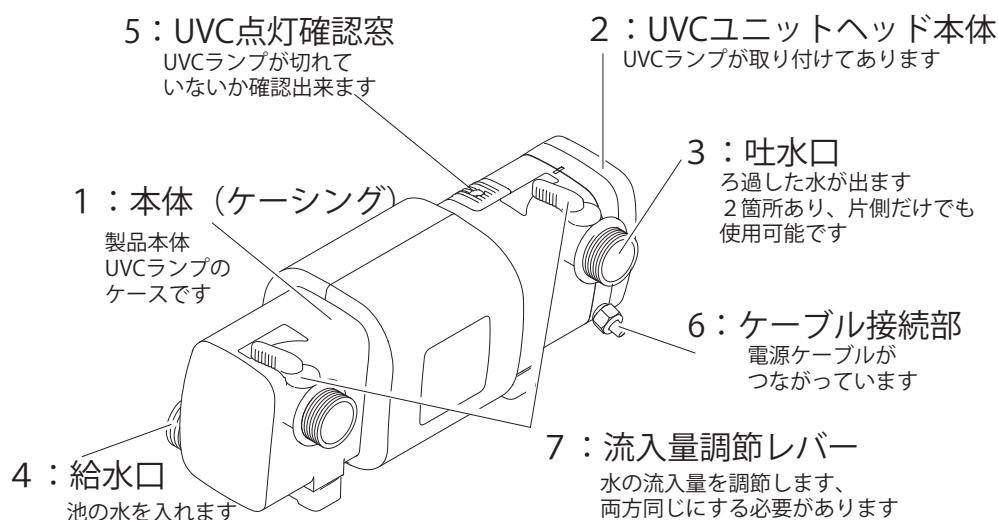
- ・ 水中ポンプ、水中ポンプ用ホース配管：38φブラックホース
- ・ 水量調節用のバルブ（40A程度）
- ・ AC100V電源
- ・ 制御ケーブル、コンセントプラグ
- ・ 漏電防止ブレーカー
- ・ 各種工具類（シールテープ、ドライバーなど）
- ・ ホース加熱用のドライヤー（ブラックホースを使用する場合）

一部の部品や水中ポンプがセットになった、Eco-X13000ポンプセットを別売で用意しています。

## 商品仕様

項目1	数値	
電源	定格電圧	AC100V :50Hz / 60Hz
	電力消費量	55W
	ケーブル長さ	5m
接続口径：給水、吐水口	(対応ホース内径)	25mm、32mm、40mm、50mm
許容周囲温度		4～35℃
循環能力		8.42L/h (505L/min)
最大許容圧力		50kPa
池の容積 処理能力目安	魚なし	～60t
	魚：小型あり	～30t
	魚：鯉あり	～15t
本体サイズ		H185×W600×φD180
本体 乾燥重量		4.5kg

## 2:各部の名称

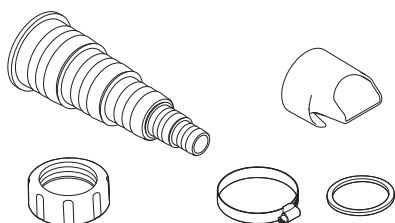


### ・消耗部品

- ・UVC殺菌灯
- ・石英ガラスチューブ
- ・クリーニングローター
- ・Oリング

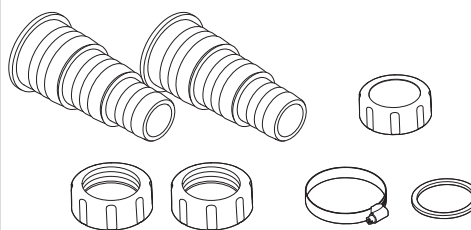
消耗の具合に応じて、交換して下さい。  
消耗部品は保証対象外です。

### 袋1: 給水口用



取付方法によっては、  
使用しない部品が含まれています

### 袋2: 吐水口用



取付方法によっては、  
使用しない部品が含まれています

※他フィルターに接続せず、単独使用で、  
吐水口を2つ使用する場合はホースクリップを  
別途ご用意下さい。

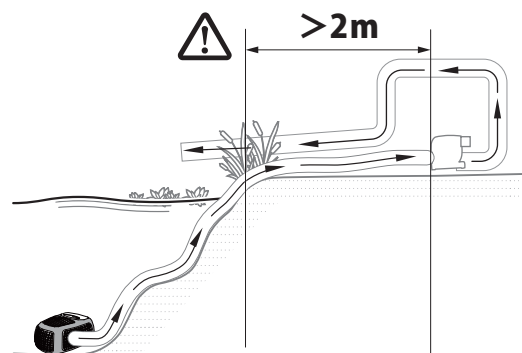
## 3:取り付け

### ・水からの距離

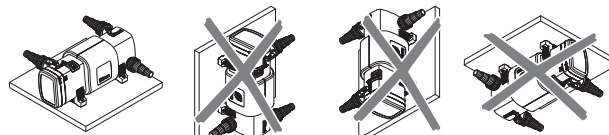
フィルタシステムは、水から2 m 以上離れた場所に、設置する必要があります。

ユニットを直射日光にさらさないでください。

ウォーターリターンポイント：水が間接的に（水路経由など）池に戻るするのがお勧めです。この方法により、水に酸素が取り込まれます。



- ・UVCランプが交換できるように本体サイズの2倍の幅スペースを確保して下さい。
- ・本体固定用に平板などを用意し、安定させて下さい。横向きや逆さにしないで下さい。（右図参照）
- ・ウォーターレベルより低く設置する場合、逆流防止のため、ポンプとの間に、バルブを設けてメンテナンス時に出来るようにして下さい。



# 3:取り付け

## ・設置

別売のブラックホース（またはリベッドホース）を接続できます。ホース以外の接続用各部品は付属しています。100 kPa以上の水圧負荷があっても良いホースを使用します。

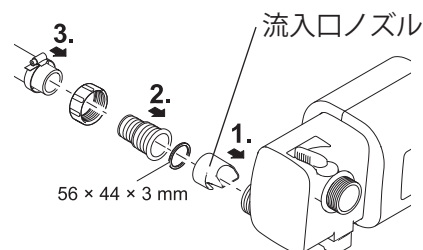
### 給水口

ホースクリップはホースに適合する物を使用して下さい。使用しなかったホースクリップは処分して下さい。

タケノコニップルはサイズに合わせて切断して下さい  
給水側、吐水側とも



1. 流入口ノズルを流入口に押し込みます。(向きに注意！)  
※流入口ノズルは、クリーニングローターの回転を弱めないために、流量が 10,000 L/h (2,642 gal/h) 未満の場合にのみ必要です。
2. ユニオンナットとパッキンを使用して、ホースコネクタを流入口にねじ込みます。
3. ホースとタケノコニップルを接続し、ホースクリップで固定します。

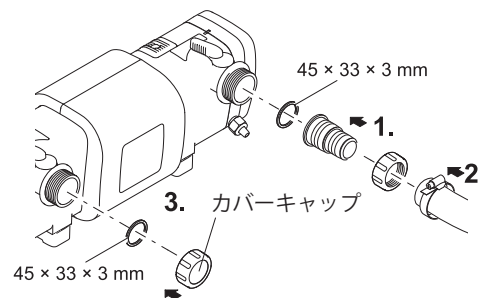


### 吐水口

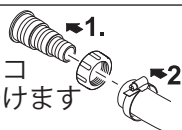
ポンドUVC55を単独使用する場合

各部品やホースクリップはホースに適合する物を使用して下さい。使用しなかったホースクリップは処分して下さい。

1. ユニオンナットとパッキンを使用して、タケノコニップルをアダプタにねじ込みます。
2. ホースと段付きタケノコニップルを接続し、ホースクリップで固定します。
3. カバーキャップ(フラットシール付)を排水口にねじ込みます。  
- 水の本流がUVCランプへと導かれ、できるだけ長くUV照射にさらされるように、カバーキャップで流入口反対側の排水口を閉鎖する必要があります。



吐水口を2箇所取る場合はタケノコニップルをとりつけます

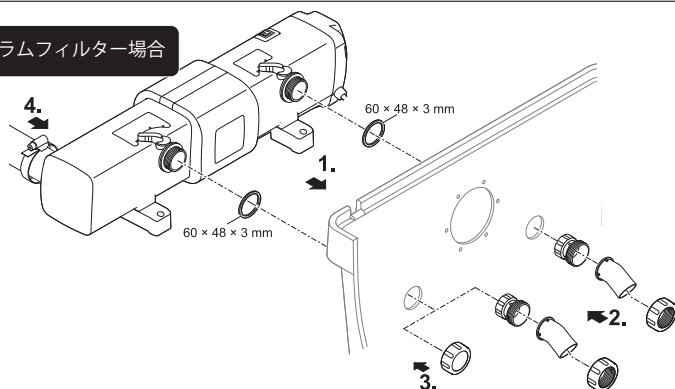


### 吐水口

ポンドUVC55とフィルターを接続する場合

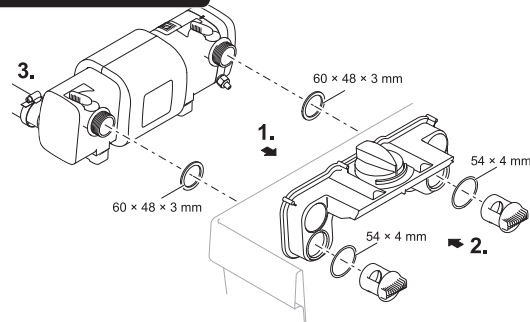
各部品やホースクリップはホースに適合する物を使用して下さい。使用しなかった部品は処分して下さい。

#### ドラムフィルター場合



1. 容器側面の穴を通し排水口を差し込みます。
2. 吐水口にアダプタをねじ込み、手で締め付けます。次に 30° のユニオン継手を差し込み、手で締めめます。開口部が下を向いていることを確認します。
3. ポンドUVC55を水中ポンプに接続します。

#### スクリーンマティック場合

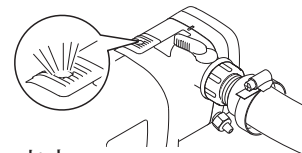


1. 容器側面の穴を通し排水口を差し込みます。
2. Oリング付きの分配装置ナットを排水口にねじ込み、手で締め付けます。
3. ポンドUVC55を水中ポンプに接続します。

## 電源接続

### •電源接続

- 水中ポンプ、漏電ブレーカーは別途ご用意が必要です。
- 各ホース、排水口キャップ、ホースクリップの固定を確認します。
- 水中ポンプの電源先に入れます。接続部から水漏れが無い確認して下さい。
- 吸い上げた池の水が吐水口から流れ出るのを確認してから、UVC殺菌灯の電源を入れます。
- 外側の青色LEDランプが連動して点灯します。内部のクリーニングローターが回転しているため点滅している様に見えます。
- 事故防止のため、漏電防止ブレーカーを取り付けて下さい。



水中に入れる前に、水中で使用すべてのユニットへの電源をスイッチオフします。ユニットの作業を行う前に、電源をスイッチオフします。

薬品、池用の水処理剤を使用する際は、ポンド UVC55 を 36 時間以上スイッチオフし、それらの効能が損なわれないようにします。

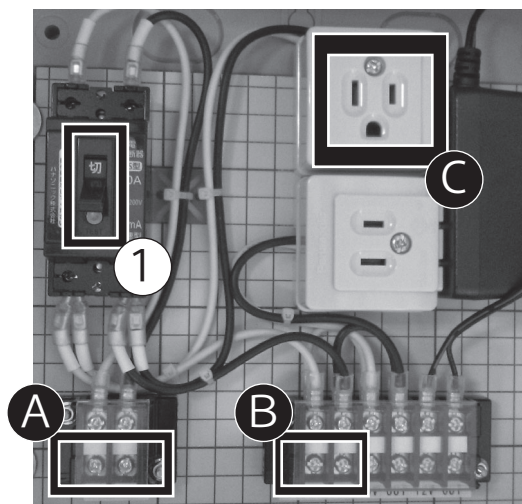
## 別売品での電源接続

•C50PT130:Eco-X ポンプ接続セット

### AC100V 漏電ブレーカーボックス

- ボックスまでのケーブルは別途ご用意下さい
- ボックス固定用のアンカービスを別途用意して、内部に浸水しない場所に固定して下さい
- すべての接続が完了してから、①ブレーカーを「入」にして下さい。

- A AC100V 入力
- B AC100V 出力：ポンド UVC55 殺菌灯へ
- C AC100V 出力：水中ポンプへ



排水口の下流で(バルブなどにより)流水が突然遮断された場合、圧力が一時的に上昇して、100kPa を超える可能性があります(ウォーターハンマー)。

ウォーターハンマー対策

- スイッチオフ：最初にポンプをスイッチオフし、次にバルブを閉じます。
- スイッチオン：最初にバルブを開き、次にポンプをスイッチオンします。
- 流入口上流にスライドバルブを設置します。

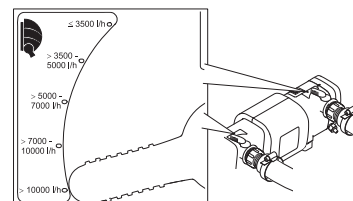
### •流入量調節レバー

水の吐水量を調節します、両方同じにする必要があります

- ①:Eco-X7500 ポンプ使用時
- ②:Eco-X13000 ポンプ、Power-X14000 ポンプ使用時

使用しません

①	≤3500L/h
	>3500-5000L/h
	>5000-7000L/h
②	>7000-10000L/h
	>10000L/h



# 4:メンテナンス



水中に入れる前に、水中で使用するすべてのユニットへの電源をスイッチオフします。  
ユニットの作業を行う前に、電源をスイッチオフします。

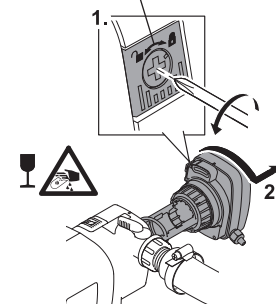
石英ガラスチューブ、UVC 殺菌灯は割れやすいので扱いに注意して下さい。

## • UVCユニットヘッドの分解

1. セーフティロックキャッチの止めねじを緩めます。  
回転方向「開ロック」シンボル側。
- ・セーフティロックキャッチを押し、ユニットヘッドを反時計回りに止まるまで回し、慎重にケーシングから取り出します。
- ・ケーシングの内側および外側表面を十分に清掃します。

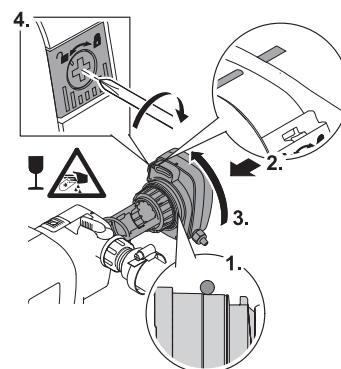
ユニットヘッドが取付されていない場合は、UVCランプのスイッチをオンにしないで下さい。

セーフティロックキャッチ



## • UVCユニットヘッドの取付

1. ユニットヘッドの凹部の前にOリングを配置します。  
- Oリングが損傷していないことを確認します。  
損傷している場合は交換します。
2. クリーニングローターを取り付けたユニットヘッドを軽い力で押し、止まるまでケーシング内に押し込みます。  
- ケーシングの印に合わせる様にユニットヘッドを回します。
3. ユニットヘッドが止まるまで回します。  
- セーフティロックキャッチがロックされたことを確認します。
4. セーフティロックキャッチの止めネジを回します。  
- 回転方向「閉ロック」シンボル側。

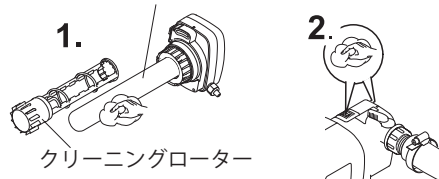


## • 石英ガラスチューブの清掃

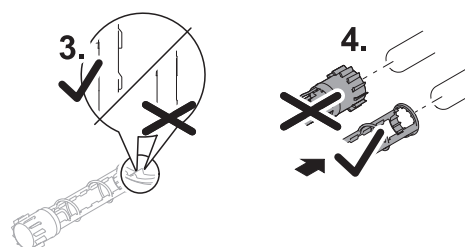


1. クリーニングローターを取り外します。  
- 流水とブラシで、クリーニングローターを清掃します。  
- 湿らせた布で石英ガラスを拭きます。  
- 損傷がひどい場合は、石英ガラスを交換します。  
(→ UVCランプの交換を参照)
2. ケーシングの内側および外側表面、点検ウィンドウを清掃します。
3. クリーニングローターの外形両端の損耗および内側表面を点検します。  
- 外形が損耗すると、クリーニングローターの回転が緩慢になります。  
この場合、交換する必要があります。
4. 石英ガラスにクリーニングローターを押し込みます。  
- 正しく取り付けられたことを確認します。
5. ユニットヘッドを取り付けます。  
(→ UVCユニットヘッドの取付)

石英ガラスチューブ

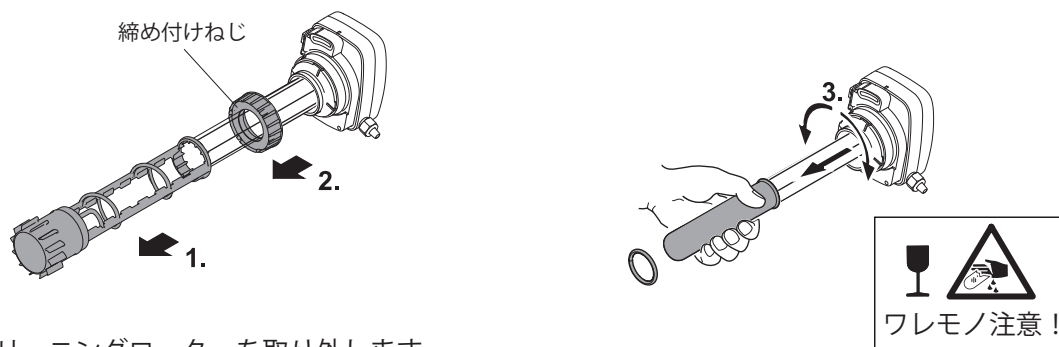


クリーニングローター

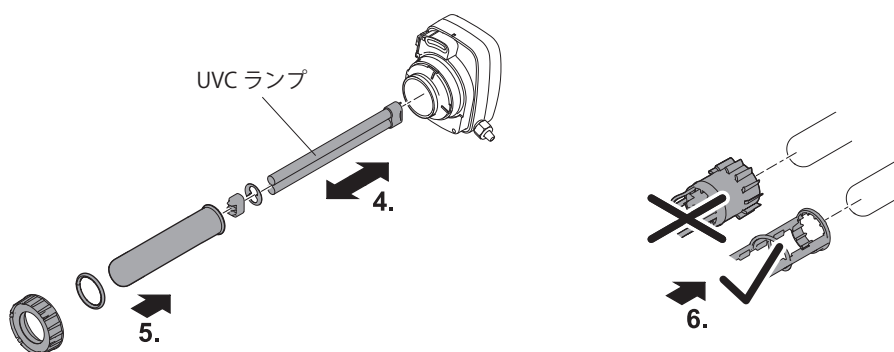


## ・ UVC殺菌灯の交換

UVC ランプは消耗品です。適切に交換する事で最適なる過性能が保証されます。  
最大 8,000 作動時間ごとに交換するのが最適です（連続作動でおよそ池の 1 シーズンに相当）



1. クリーニングローターを取り外します。
2. 締め付けねじを反時計回りに回して外します。
3. Oリング付きの石英ガラスを前方に少し回しながら取り外します。



4. UVC ランプを取り出して交換します。
5. 慎重にOリング付きの石英ガラスを止まるまでユニットヘッドに押し込み、締め付けねじを取り付け、時計回りに止まるまで回して締め付けます。
  - Oリングを清掃します。損傷している場合は交換します。
  - Oリングがユニットヘッドと石英ガラスの間の溝にはまっていることを確認します。
6. 石英ガラスにクリーニングローターを押し込みます。
  - 正しく取り付けられたことを確認します。
7. ユニットヘッドを取り付けます。  
(→ユニットヘッドの取り付け)

## ・ 保管／越冬

水温が +8 °C 未満、または氷点下の気温が予想される際には、作動を停止させます。

- ・ ユニットをできるかぎり水抜きし、完全に清掃して損傷を点検します。
- ・ すべてのホース、パイプ、接続部をできるかぎり空にします。
- ・ 子供の手の届かない場所に保管します。

## ・ 廃棄

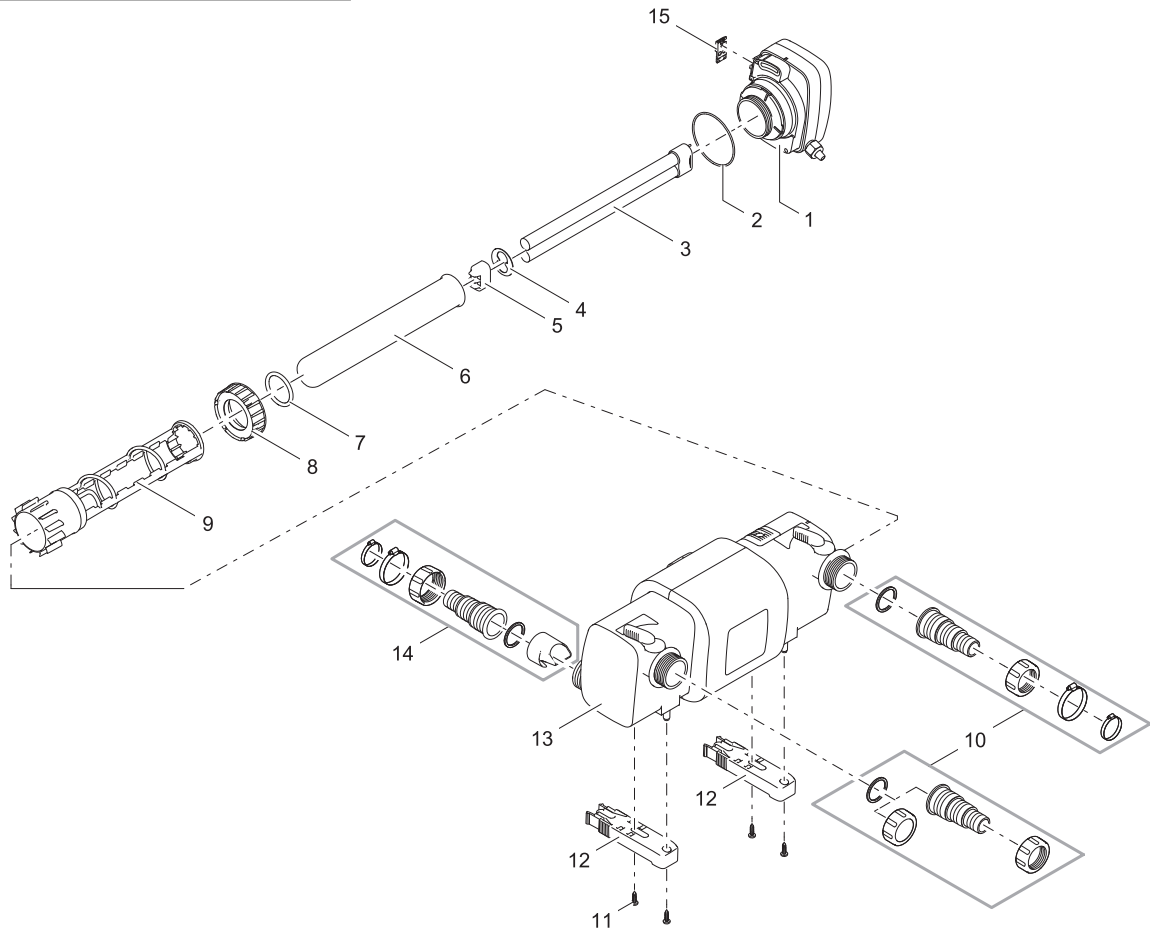
廃棄の際は自治体の条例を遵守して行って下さい。

必ずケーブルを切断して、電気ユニットを使用不能な状態にしてください。

## ・ 不具合からの復旧

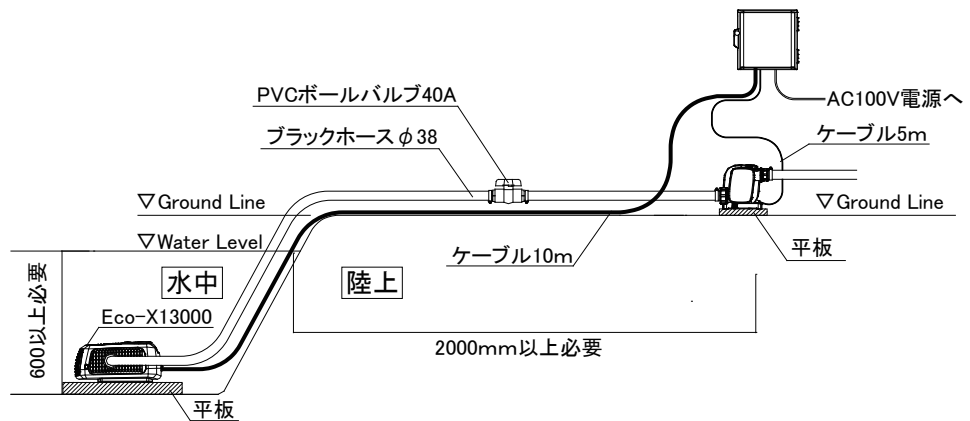
異常	原因	修復
水が濁ったまま (緑色の水)。	水が極度に汚れている。	池から藻や落ち葉を取り除きます。 水を換えます。
	ポンプの搬送率が不十分である	取り付けを点検します。
	石英ガラスが汚れている。	石英ガラスを清掃します。
	石英ガラスに引っ掻き傷がついている。	石英ガラス、クリーニングローター(必要に応じ) ローターを交換します
	クリーニングローターが回転しない。 点検確認窓の光が点滅している様に見えない	クリーニングローター、石英ガラスの清掃を実施 ポンプの流量が 10,000 L/h (2,642 gal/h)未満の場合、 クリーニングローター駆動用の流入口ノズルを使います。 外形が損耗している場合、クリーニングローターを交換します。
	UVC ランプ性能が低下している。	UVC ランプを 8,000 作動時間ごとに交換します。
	流入量調節レバーの位置が異なる。	レバー位置を直して、数日様子を見ます。
水流が少ない、不十分。	流入口ノズルの詰まり	流入口ノズルを清掃します。
	排水口の詰まり	ケーシングを清掃します。
UVC ランプが点灯しない。	電源プラグが接続されていない	電源プラグを接続します。
	UVC ランプの障害	UVC ランプを交換します。
	接続の障害	電源接続を確認します。
	本体ユニットが過熱によりスイッチオフされた (セーフティスイッチオフ)。	ユニットを冷却します。ユニットは自動的に復旧します。

# 5:補足資料

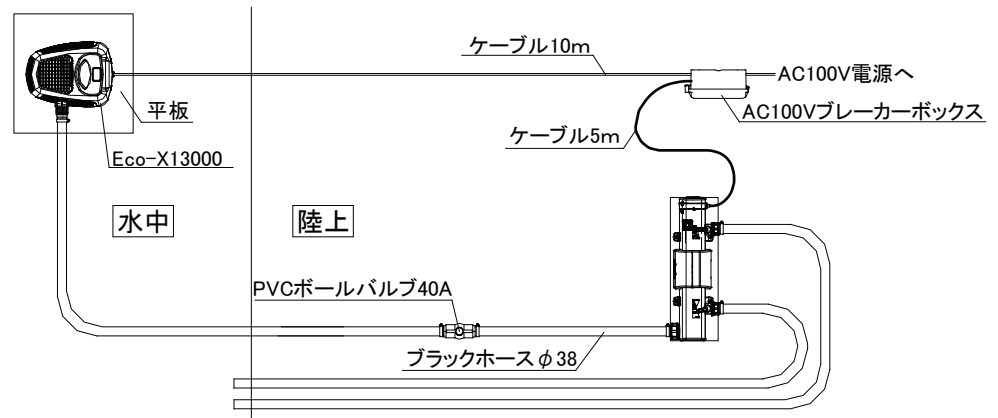


図はC50PT130を使用した取り付け図です。

## 立面図



## 平面図



## <保証規定>

1. 取扱説明書、本体ラベルなどに記載された正常な使用状態で故障した場合、保証期間中は修理または同等品の提供をさせていただきます。
2. 保証期間内であっても以下の場合は有料となります。
  - ①取扱説明書、本体ラベルなどに記載された安全上の注意事項に反したご使用による故障及び損傷。
  - ②火災、地震、水害、落雷、その他天災・地変・公害・異常電圧・電波障害による故障及び損傷。
  - ③不適切な移動、落下などによる故障及び損傷。
  - ④給水系部品及び電磁弁の凍結による故障及び損傷。
  - ⑤各種の設定・角度変更等の調節作業、消耗部品の代金、及び交換。
  - ⑥本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入が無い場合、または伝票番号等の記載事項が書き換えられた場合
  - ⑦本書の提示が無い場合
3. 無償修理をご希望の場合、製品に本書を必ず添えて、ご持参またはご返送してください。尚、その場合の交通費、送料、梱包費等はおお客様のご負担となります。
4. 製品の故障またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責任を負わないものとします。
5. 保証期間経過後の修理・交換は有料にて承ります。
6. 本書は日本国内のみ有効です。
7. 本書に明示した保証条件のもとで無償修理をお約束するものです。  
したがって、本書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
8. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

## <メモ>

---

---

---

---

# 製品保証書

本書は、本書記載の内容でお買い上げ日から規定期間内で保証する事をお約束するものです。下記にお名前、ご住所、電話番号を必ずご記入の上、故障内容を記したメモ等をつけて、製品に同封してください。保証規定については裏面をご参照ください。

<保証期間>  
1年間

お買い上げ日 年 月 日

伝票番号 No. \_\_\_\_\_

お客様

お名前

電話番号

ご住所 〒

販売店様

会社名/担当者様

電話番号

ご住所 〒

販売店  
ご担当者様へ

本書に、お買い上げ日、販売店をご記入の上、お客様へ製品と共にお渡しく下さい。  
万が一、伝票番号の記載漏れのあった場合は下記まで、ご連絡頂きます様お願い申し上げます。

お問合せ先

グローベン株式会社

電話番号 / 052-619-6788

所在地 / 〒455-0025

名古屋市港区本星崎町字南3998-31

受付時間 / 平日 9:00 ~ 17:30

※祝日、夏期休暇、年末年始を除く

個人情報の取り扱いについて

ご記載頂いたお客様の個人情報はお問合せ対応に必要な範囲で使用し、弊社規定に則り厳重に保管します。  
なお、個人を特定出来ない情報に関しては、サービス向上や製品開発などに利用させて頂く場合がございます。  
ご記載頂いた情報に誤りがある場合、弊社からご連絡できない場合があります。ご連絡頂いた個人情報は以下の場合を除き、第三者への開示、提供を致しません、お問合せ内容の修理、対応のために弊社関連会社や販売店様へ連絡する場合、機密保持契約をした外部業者に依頼する場合、法令などにもとづく場合。